

財政収支(1-9月)

(1) 1-9月の歳入は前年同期比76.9%増、税金は同72.2%増。歳出は前年同期比81.1%増。
 (2) 結果として1-9月の財政収支は10,740.18億リラの赤字(前年同期比109.5%増)、プライマリーバランスは1,613.32億リラの赤字(同286.5%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2023年1-9月(A)	2024年1-9月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	34,399.83	60,846.19	76.9%
税金	29,820.35	51,340.59	72.2%
所得税	4,624.10	10,166.22	119.9%
法人税	4,882.25	6,720.70	37.7%
付加価値税(国内及び輸入)	9,852.37	16,643.95	68.9%
特別消費税	6,115.15	9,988.35	63.3%
その他税金	4,346.48	7,821.37	79.9%
税外収入等	4,579.48	9,505.60	107.6%
歳出(b)	39,525.85	71,586.37	81.1%
人件費	9,608.90	20,067.36	108.8%
物品及びサービスの購入	2,739.97	4,544.68	65.9%
経常移転	16,240.05	27,403.30	68.7%
資本支出	2,363.49	5,328.61	125.5%
支払利子(c)	4,708.64	9,126.86	93.8%
その他歳出	3,864.80	5,115.56	32.4%
財政収支(a-b)	▲ 5,126.02	▲ 10,740.18	▲ 109.5%
基礎的財政収支(a-(b-c))	▲ 417.38	▲ 1,613.32	▲ 286.5%

経常収支(2024年1-8月)

(1) 2024年1-8月の経常収支は、96.65億ドルの赤字(前年同期は389.25億ドルの赤字)。
 (2) 2024年1-8月の貿易収支(物品)は385.50億ドルの赤字で前年同期から赤字幅減少、旅行収支は306.01億ドルの赤字で前年同期から黒字幅拡大。

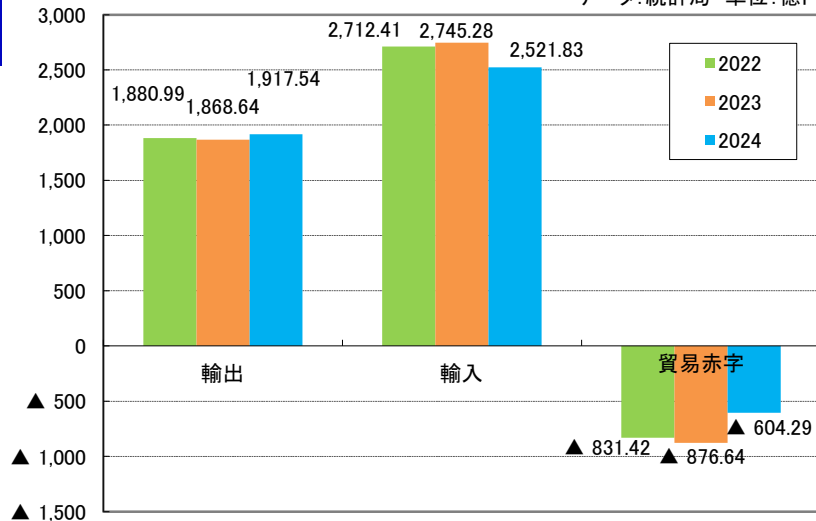
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2023年1-8月(A)	2024年1-8月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 389.25	▲ 96.65	75.2%
貿易収支(物品)	▲ 686.29	▲ 385.50	43.8%
サービス収支	373.87	392.05	4.9%
旅行収支	278.59	306.01	9.8%
第1次所得収支	▲ 79.68	▲ 103.65	▲ 30.1%
第2次所得収支	2.85	0.45	▲ 84.2%
労働者送金	1.55	0.60	▲ 61.3%
資本移転等収支	▲ 1.44	▲ 1.20	16.7%
金融収支	▲ 448.42	▲ 215.52	51.9%
直接投資	▲ 28.69	▲ 26.17	8.8%
証券投資	▲ 9.27	▲ 150.10	▲ 1519.2%
その他投資	▲ 224.25	▲ 5.06	97.7%
外貨準備	▲ 186.21	▲ 34.19	81.6%
誤差脱漏	▲ 57.73	▲ 117.67	▲ 103.8%

貿易収支(1-9月)

(1) 1-9月の輸出額は1,917.54億ドル(前年同期比2.6%増)、輸入額は2,521.83億ドル(同8.1%減)となり、この結果、貿易収支は604.29億ドルの赤字(同31.1%赤字幅縮小)となった。
 (2) 1-9月の輸出額におけるEU向けの割合は41.6%(前年同期は41.7%)、輸入額におけるEUからの割合は32.2%(前年同期は28.6%)となっている。

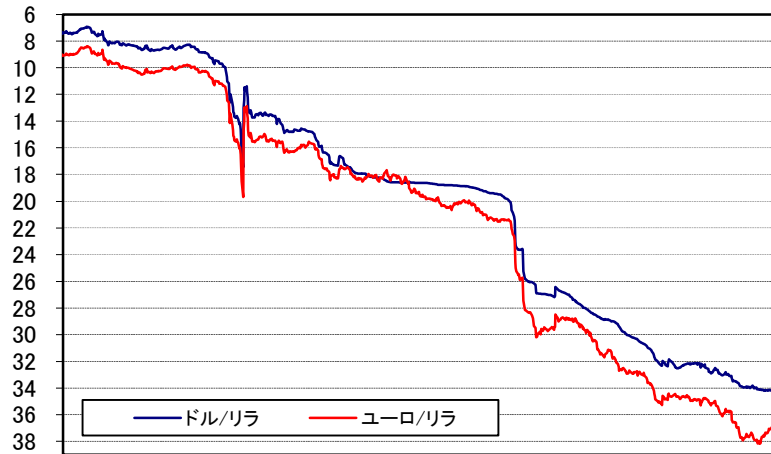
データ:統計局 単位:億ドル



為替(10月)

引き続き中東地域における地政学リスクが意識されているものの、対ドル・ユーロともにその水準について、先月から大きな変動は無し。月末時点では1ドル=34.18リラ(前月末比0.2%安)、1ユーロ=37.12リラ(同2.8%高)となった。

データ:中央銀行 単位:リラ

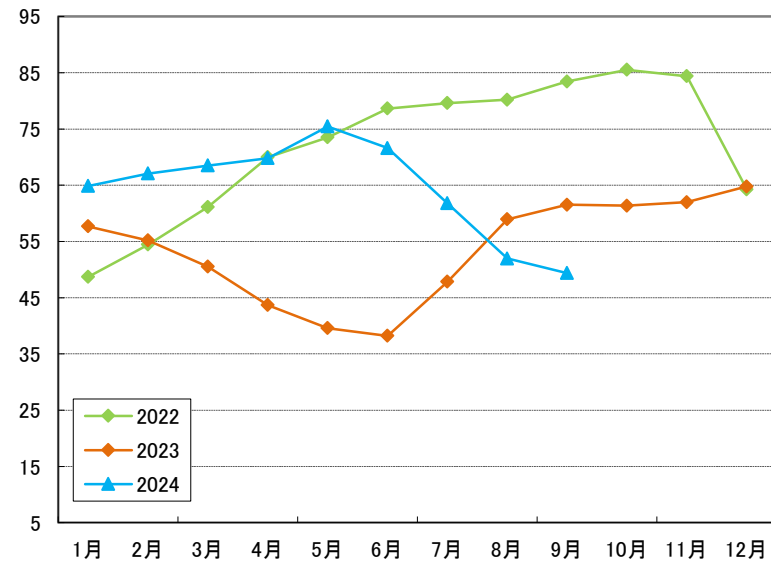


21/1 21/4 21/7 21/10 22/1 22/4 22/7 22/10 23/1 23/4 23/7 23/10 24/1 24/4 24/7 24/10

消費者物価上昇率(9月)

(1)9月の消費者物価は前年同月比49.38%増、前月比2.97%増。
(2)項目別にみると、前年同月比では住宅が97.87%となり最も上昇した。前月比では教育が14.21%となり最も上昇した。
(3)2024年末のインフレ率の中銀目標は前年同月比38%。
(4)国内生産者物価指数(9月)は前年同月比33.09%増、前月比1.37%増となった。

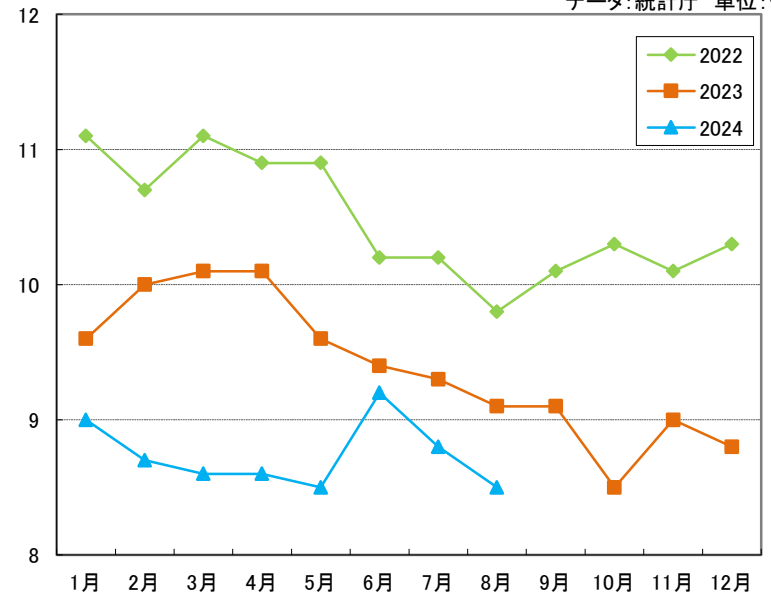
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



失業率(8月)

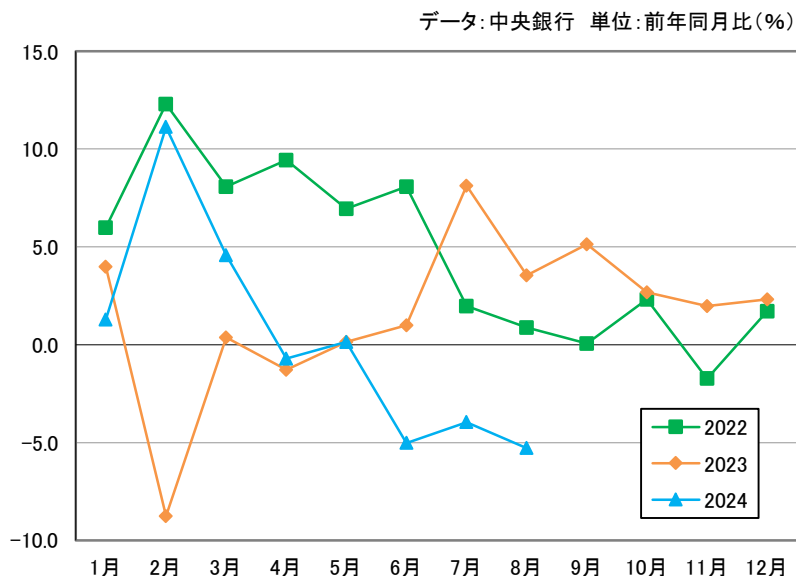
(1)8月の失業率(季節調整後)は8.5%となり、前月から0.3ポイント低下。
(2)労働力人口は3,583.1万人、就労者数は3,277.6万人、失業者数は305.5万人。
(3)男性の失業率は7.0%、女性は11.4%。若年層(15-24歳)の失業率は16.5%となっている。

データ:統計庁 単位:%



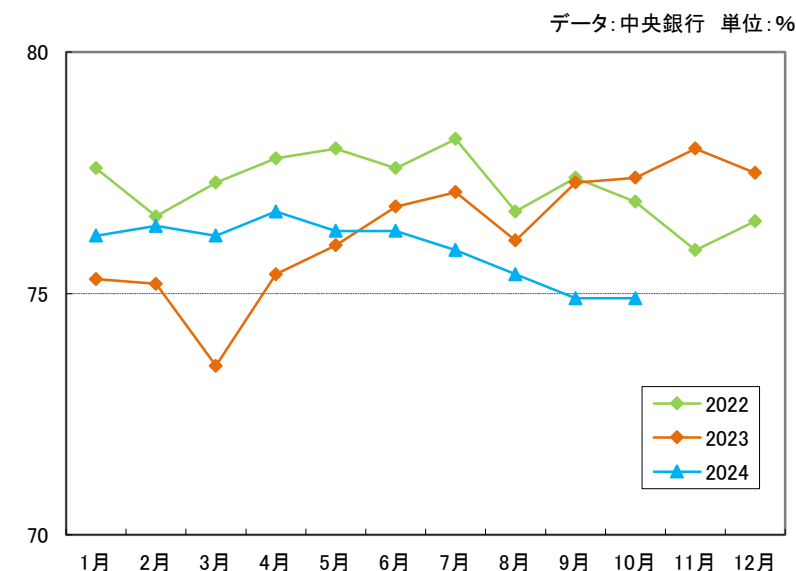
鉱工業生産(8月)

(1)8月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)5.3%減。
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比1.5%減、資本財が同10.7%減、中間財が同4.9%減となった。



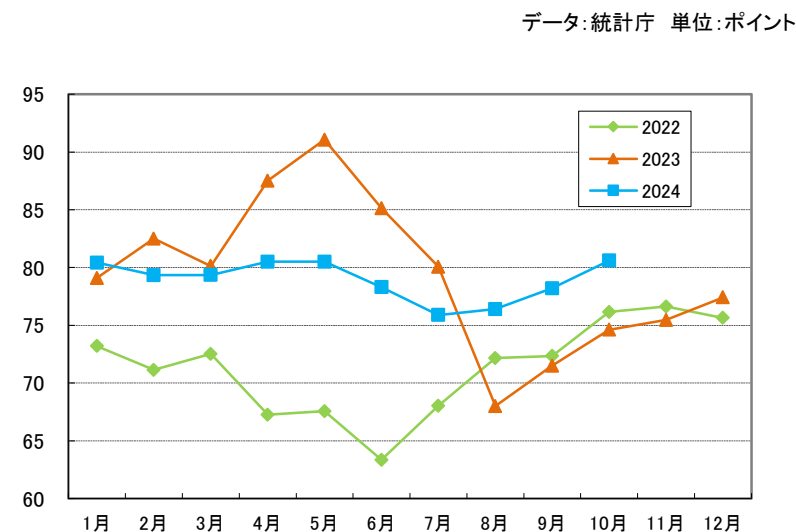
設備稼働率(10月)

(1)10月の設備稼働率は74.9%となり、前年同月から2.5ポイント減少。前月からは変化なし。
 (2)製造業の分野別では、たばこ製造業(84.0%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(60.3%)が最も低い稼働率であった。



消費者信頼感指数(10月)

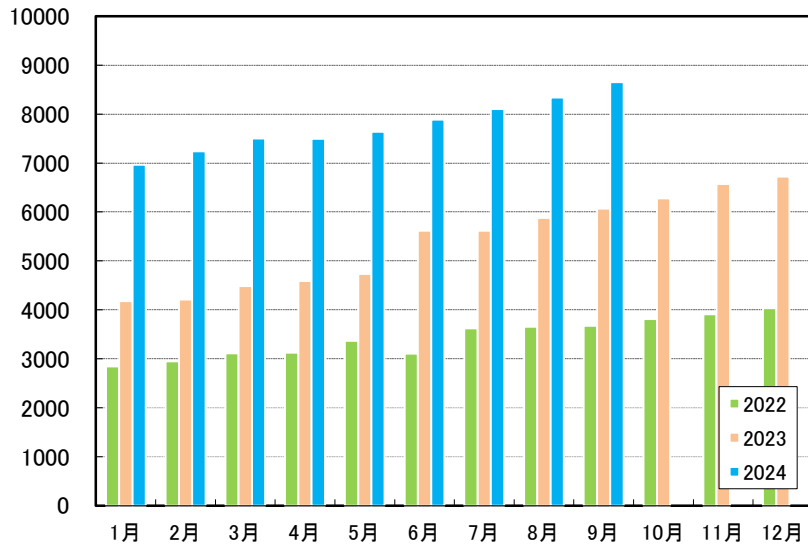
(1)10月の消費者信頼感指数(季節調整値)は80.6ポイントとなり、前月から2.4ポイント上昇。
 (2)内訳では、「現在の家計の財政状況」は前月から低下、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」及び「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から上昇。



中央政府債務残高(9月)

(1)9月末時点での中央政府債務残高は8兆6,493億リラとなり、前年同月比42.5%増、前月比3.7%増となった。
(2)また、国内債務比率は50.6%、自国通貨債務比率は41.1%(2023年末は35.8%)となっている。
(3)なお、債務残高のうち円は0.5%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

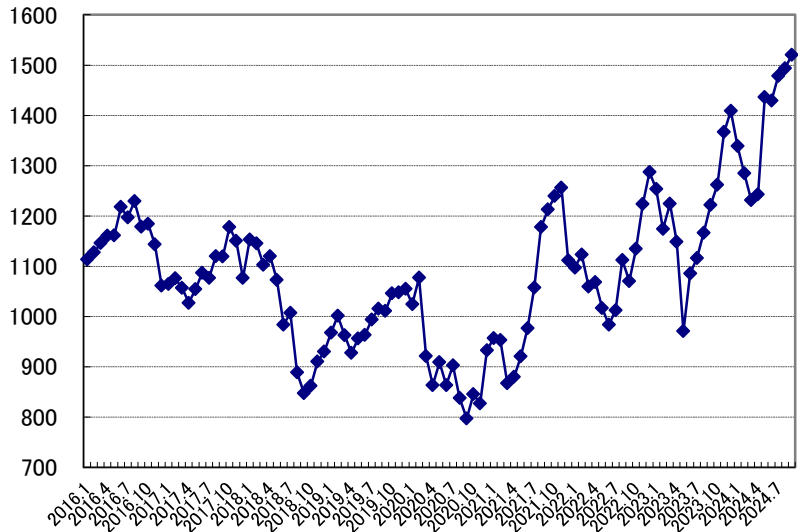
データ:財務省 単位:10億リラ



外貨準備高(9月)

(1)9月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,520.67億ドルとなった。
(2)前月から269.4億ドル増加した。

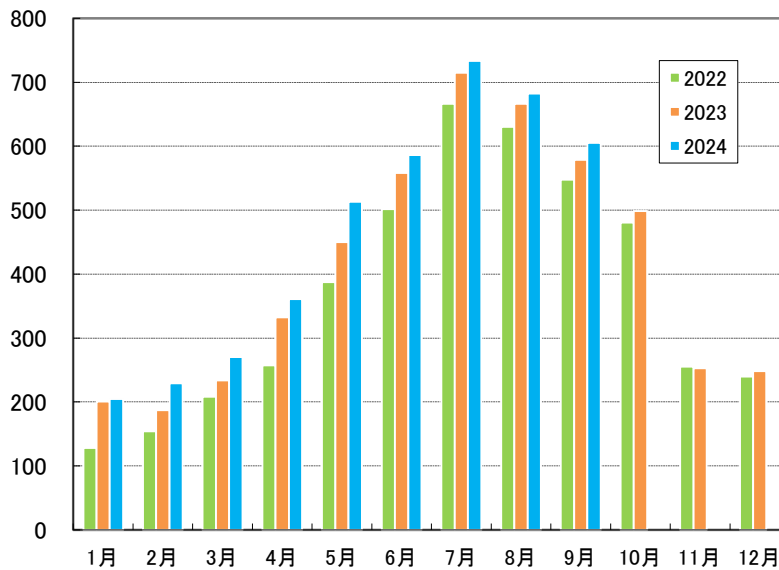
データ:中銀 単位:億ドル



外国人訪問者数(9月)

(1)9月の外国人訪問者数は6,054,431人で、前年同月比4.64%増。日本は16,458人であった(前年同月は9,298人)。
(2)国別ではロシアが最も多く、922,792人で全体の15.24%を占め、以下、ドイツ(772,162人)、英国(576,969人)となっている。

データ:文化観光省 単位:万人

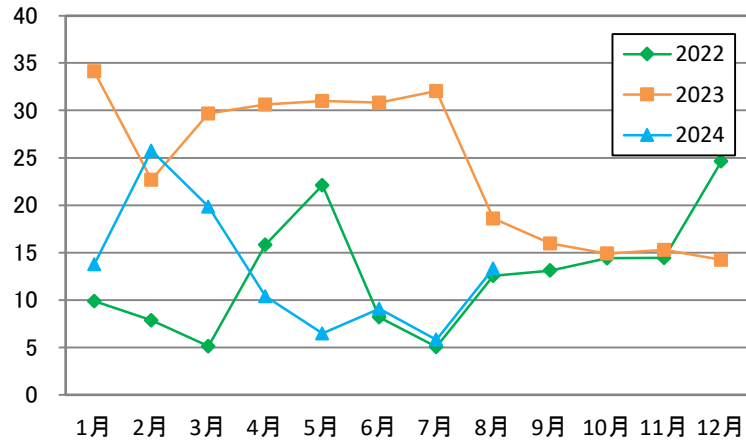


小売売上高(8月)

(1)8月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)13.3%増、前月比(季節及び日数調整後)2.2%増。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比11.3%増、情報・通信機器が同32.4%増となった。

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

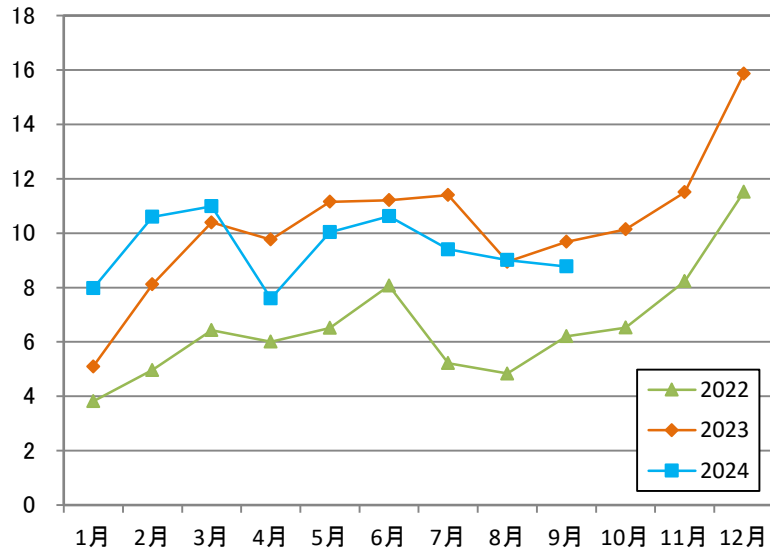


新車販売台数(9月)

(1)9月の新車販売台数は87,740台で前年同月比9.35%減。

(2)9月の内訳は乗用車が69,634台(前年同月比11.8%減)、小型商用車が18,106台(同1.6%増)となった。

データ:自動車販売協会 単位:万台



住宅販売戸数(9月)

(1)9月の住宅販売戸数は140,919戸で前年同月比37.3%増となった。

(2)9月は新築が44,858戸(前年同月比47.1%増)、中古が96,061戸(同33.1%増)。

(3)9月の住宅ローンでの購入は15,825戸(前年同月比87.4%増)、その他が125,094戸(同32.8%増)。

データ:統計庁 単位:万戸

